### 高山右近と加賀前田家



たかやまうこん 高山右近は、天文21年 (1552) 頃に摂津国 たかやま
高山で生まれ、父の跡を継いで高槻城の城主 となりました。城主となった右近は、織田信長 や豊臣秀吉の元で、武将や茶人として活躍し ますが、茶人としては、千利休の高名な弟子 「利休七哲 | とされています。

秀吉は、天正15年 (1587) に伴天連追放令 を発します。棄教を拒んだ右近は追放され ますが、天正16年 (1588) に、金沢の前田 利家(初代加賀藩主)のもとに迎えられ、金沢

に来た頃には、「南坊等伯」と名のっていました。

前田家での右近は、八王子城攻めや大聖寺城攻めでの武将としての 活躍だけではなく、金沢城の改修や惣構の築造などにも深く関わってい たと伝えられています。また、村の訴訟や加賀藩の政策策定にも携わっ ていました。

なお、前田利長(2代加賀藩主)の遺訓書では、宛所の4番目に右近は 記され、前田利常 (3代加賀藩主) の頃には、重臣が名を連ねる書状の 筆頭に右近が署名することもあり、重要な地位にいたことがわかります。 また、右近の娘ルチアは重臣の横山氏に嫁ぎました。

右近は、金沢城下町に教会を建設し、内藤如安や浮田久閑らのキリシ タン武将が前田家に迎えられました。右近の影響で、加賀や能登において もキリスト教の布教は進んでいきました。

また、金沢には右近の逸話が多く残されており、茶席で機転を利かせて 利長を喜ばせた話や、能楽に長じたという右近の息子の美少年「十次 郎」ははやり歌になったほどです。

武士であると同時に文化人としても活躍していた右近ですが、慶長19年 (1614)のキリシタン禁教令によって、前田家を離れることになります。 右近は妻子や孫らとともに金沢を立ち、長崎からフィリピン・マニラへと 出航しました。困難な航海の末、翌年にマニラに到着しますが、病に かかった右近は翌月の元和元年(1615)に亡くなりました。

右近が高槻城主の頃、城下町には教会が建設され、外国人宣教師ら も訪れていました。活発な国際交流によって、日常生活とヨーロッパ文化

が共存した城下町であったよ うです。加賀藩のキリスト教 信仰は右近がその基礎を築 きましたが、文化の面におい ても大きな影響を与えたと考 えられます。

高山右近肖像画 (金沢市立玉川図書館所蔵)

延宝年間金沢城下図 (石川県立図書館所蔵)



### 高山右近の 生涯

高山右近の署名 「等伯」と花押®

石川県金沢市は、日本の本州日本海側のほぼ中央に位置し、江戸時代の 金沢城下町に由来する市街地を中心とした都市です。キリシタン大名として 知られる高山右近がその半生を過ごし、武将や文化人として活躍しました。

右近は、大名という地位を捨ててまでキリスト教の信仰を貫いたことで、 ヨーロッパでも知られたキリシタンです。2016年にカトリック教会の崇敬対象 として、「福者」に認定されました。右近の洗礼名「ジュスト (Justo)」は 「正義の人、義人」を意味しており、右近の人柄が忍ばれます。

「キリシタン大名への新視点 高山右近(中西裕樹編)」から引用・一部改変

西暦(和暦)	年齢	事績	
1552 (天文21年)	1	高山飛驒守の子として摂津高山 (大阪府豊能町) で生まれる。	_
1564 (永禄7年)	13	沢城 (奈良県宇陀市) で受洗 (洗礼名: ジュスト)。	
1573 (天正元年)	22	高槻城 (大阪府高槻市) 主となる。	
1576 (天正4年)	25	右近の尽力により、京都 (京都府京都市) に南蛮寺が建つ。	_
1580 (天正8年)	29	安土城下 (滋賀県近江八幡市) に屋敷を与えられる。 セミナリオ (神学校が建つ。	ξ)
1582 (天正10年)	31	本能寺 (京都府京都市) の変で織田信長が死去。羽柴 (後の豊臣) 秀吉( 先鋒として明智光秀と戦う。	カ
1583 (天正11年)	32	大坂城下町(大阪府大阪市)に屋敷を構え、大坂教会の建設に尽力する。	_
1585 (天正13年)	34	播磨明石 (兵庫県明石市) へ移封。	_
1586 (天正14年)	35	イエズス会日本準管区長コエリョの、秀吉への謁見に立ち会う。	_
1587 (天正15年)	36	秀吉の九州攻めに従軍。伴天連追放令によって大名の地位を失う。	
1588 (天正16年)	37	前田利家(初代加賀藩主)の保護を受けて、加賀金沢へ移る。	
1590 (天正18年)	39	利家に属して秀吉の小田原 (神奈川県小田原市) 北条氏攻めに従 軍。武蔵八王子城 (東京都八王子市) 攻めで活躍。	
1592 (文禄元年)	41	朝鮮出兵がはじまり、肥前名護屋(佐賀県唐津市)で秀吉と対面。	_ 수
1599 (慶長4年)	48	金沢城の改修及び金沢城下に惣構が築造され、これは右近の設計(縄張)という。	<b>沪滞在</b>
1600 (慶長5年)	49	関ヶ原(岐阜県関ヶ原町)の合戦が起こる。前田利長(2代加賀藩主)に従軍し、東軍方として北陸を転戦して大聖寺城(石川県加賀市)などを攻撃。	金沢滞在期間(26年)
1609 (慶長14年)	58	利長が高岡城 (富山県高岡市) の工事を開始。右近の設計 (縄張) という。	+
1614 (慶長19年)	63	キリシタン禁教令で右近一族が金沢を去る。江戸幕府が右近の 国外追放を決定、坂本、大坂、長崎を経て、フィリピン・マニラへ。	
1615 (元和元年)	64	マニラにて没。	

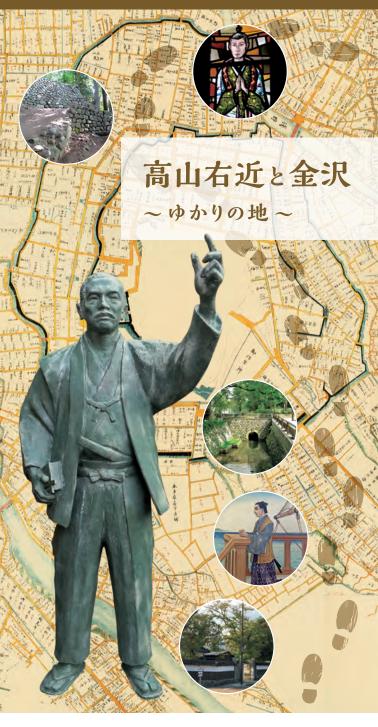


金沢市文化政策課 TFI:076-220-2442

bunshin@city.kanazawa.lg.jp

金沢市観光協会 TEL: 076-232-5555





金沢市・金沢市観光協会

#### ●右近の屋敷跡

右近の屋敷地は、その後本多家 上屋敷となる土地であったことが、 大乗寺の由緒書にみえる。現在の 石川県立美術館周辺である。金沢 21世紀美術館敷地内との説もある。





本多家 ト屋敷跡 (市指定史跡) の石垣

# きりしたんじあと 切支丹寺跡

キリスト教会のこと、南西寺ともいう。江戸時代の絵図に「切支丹屋敷」との記載がみられ、元は切支丹寺があったことがわかる。現在の兼六園横の紺屋坂に隣接する箇所であったようだ。

中 史跡案内板



金府大城図(金沢市立玉川図書館所蔵)

## じんえもんざかした ばてれんやしきあと 3 其右衛門坂下の伴天連屋敷跡

金沢城西側と城下をつなぐ坂の下周辺には伴天連屋敷(宣教師の屋頭)が集まっていたと伝わる。内藤如安、浮田休閑など、右近を頼って金沢に来たキリシタン武将や加賀藩士が集まっていたのであろう。

早 史跡案内板



甚右衛門坂下周辺

# ごうひめ くろもんまえりょくち **豪姫屋敷跡 (黒門前緑地**)

豪姫は前田利家とまつの四女で、 秀吉の養子。岡山城主宇喜多野県 の妻。関ヶ原合戦後、敗れた秀家は 八丈島へ流されるが、豪は大坂で キリシタンとなった後、金沢へ帰り、 この地に居住したと伝わる。受洗名 はマリア。





黒門前緑地

#### 5 金沢城跡

本願寺による金沢御堂を起源とし、佐久間盛政によって築城 前田家が本格的に整備した平山城である。国指定史跡。新丸や大手門の整備が右近の設計によるものとされている。また、金沢城の建築物のデザインと京都の南蛮寺図が類似していることから、右近との関連が指摘されている。



金沢城跡大手門の石垣

# 6~9金沢城惣構跡

金沢城下町を二重に囲む堀と土居で、慶長4年 (1599) 頃に築造された。市指定史跡。内と外の両方を右近の手によるものとする記録がある一方、内側の惣構を右近、外側を加賀藩重臣の篠原氏によるものとする後世の記録もある。

### 【6升形遺構】

外港から城下への出入口に該当し、堀 と土居で方形の「升形」空間をつくって 防御を固めた場所で、堀と土居が整備 されている。

早 史跡案内板

#### 【 7 宮内橋詰遺構】

ケヤキの巨木が土塁の盛土と共に 残っている。隣接地の金沢21世紀美 術館脇へ堀が延びており、堀の雰囲気 が長い区間でイメージできる唯一の 場所である。

### 【 ⑧ 枯木橋詰遺構】

北国街道を介した城下の出入口のひとつ。堀の変遷過程が整備されている。 惣構の大部分が素掘りであるが、ここでは石垣が使用されていたことが特徴といえる。

## 【 9 緑水苑内遺構】

浅野川へと流水する地点。堀と土居が 整備されている。主計町の町並み(国 選定重要伝統的建造物群保存地区)と あわせて散策できる。



史跡整備された升形遺構



宮内橋詰遺構(左が土居)



枯木橋詰遺構(右が土居)



緑水苑内遺構 (左が土居)

#### 10 前田土佐守家資料館

加賀藩年寄役(加賀八家)であった まえだとさのかみけた前田土佐守家所蔵の資料、約9,000点を保管する資料館で、右近を大切にするよう述べた利家の遺言状(写し)を所蔵・展示している。

★町2-10-17
(076) 233-1561



利家の遺言状 (県指定文化財) ※写し

#### 11 金沢市立中村記念美術館

茶道具と工芸の美術館で、右近の娘ルチアが嫁いだ横山家伝来の茶入や、右近によってキリシタンに改宗した蒲生氏郷が所有していたと伝わる茶道の新である干利休作の茶杓を所蔵している。

▲ 本多町3-2-29 (076) 221-0751



横山家伝来の茶入・利休小肩衝 (市指定文化財)

#### 12カトリック金沢教会

右近銅像 (表紙) などがある。教会内には、右近の姿を描いたステンドグラスや右近の聖遺物、右近所用と伝わる香炉 (右写真)、マリア観音像、聖母子像などを見ることができる。

🚹 広坂1-1-54

(076) 264-2536



伝右近所用の銅製冠形香炉

## りゅうぞうじ 立像寺

寺町台 (国選定重要伝統的建造物群保存地区) にある日蓮宗寺院。 境内に、高山右近作と伝わるキリシタン(計画) (非公開) がある。本堂と鐘楼堂は市指定文化財。

▲ 寺町4-1-2



庭園内のキリシタン灯籠

